

第3回 ユース・アドバイザー・サーベイ結果（抜粋）

調査概要

対象者：15～24歳の男女

回答者数：137人

回答期間：2018年9月10日～2018年10月12日

告知媒体：プランのホームページ、フェイスブックでの投稿

以下、おもな調査結果（抜粋）

調査概要

対象者：15～24歳の男女

回答者数：137人

回答期間：2018年9月10日～2018年10月12日

告知媒体：プランのホームページ、フェイスブックでの投稿

1) NGOに関する認識

・ NGOの役割認識が多かった回答

「当事者として現場で問題解決に参加する」

・ NGO職員として働きたいかどうか（回答数は半々）

働きたい人の理由：「世界のために」「ミクロレベルで関わりたい」

働きたくない人の理由：「将来が不透明」「給料が低そう」「過酷な労働環境」

2) プランの認知度

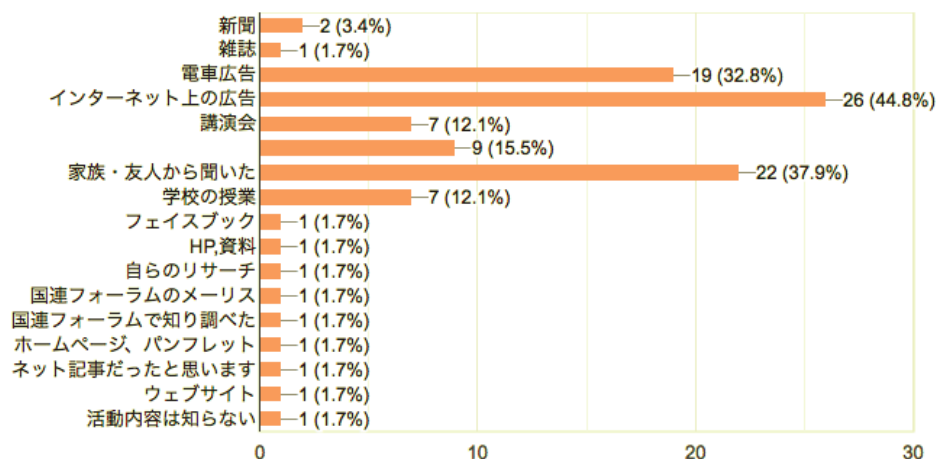
・ プランを知ったきっかけ（回答の多い順）：学校の授業、インターネットの広告、新聞

・ プランの名前を聞いたことがある：57%

・ 具体的な活動内容を知っている：37%

プランの活動内容をどのようにして知りましたか。以下のうち当てはまるものすべてを選択してください。

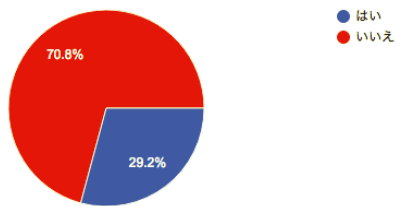
58件の回答



- ・プランのロゴを知っている：29.2%
- ・「Because I am a Girl」ロゴを知っている：69.3%

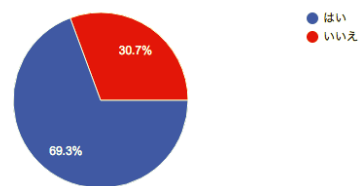
プランのロゴを見たことがありますか？

137件の回答



プランのBecause I am a Girlキャンペーンのポスターは見たことがありますか。

137件の回答

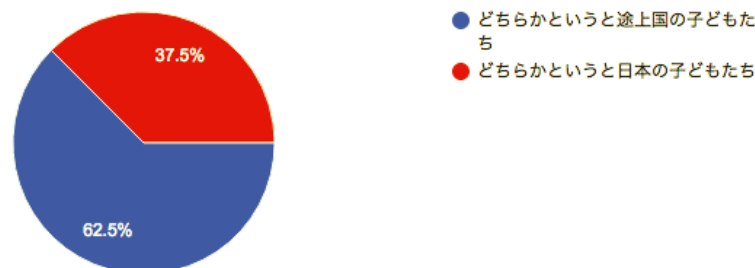


3) 国内問題

- ・国内問題に関する関心（回答の多い順）：児童虐待(33.6%)、いじめ(25.5%)、海外にルーツをもつ子ども(17.5%)
- ・「子どもの貧困問題に関して途上国と日本のどちらを支援したいか」：途上国 62.5%、日本 37.5%

子どもの貧困に着目して支援をするとしたら、あなたは「途上国」と「日本」のどちらの支援により寄付をしたいですか。

128件の回答



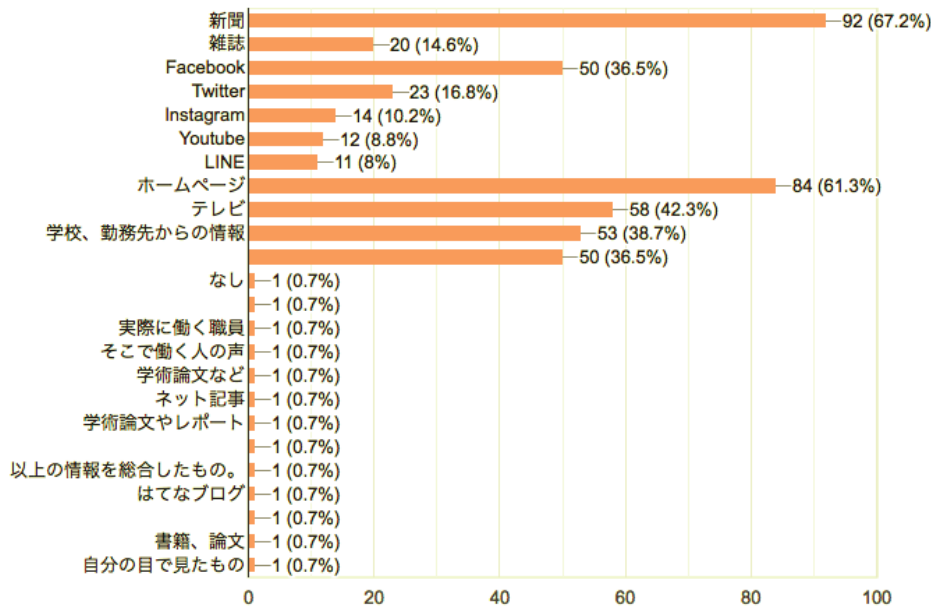
- ・児童問題に取り組む際に重要なこと（任意回答）：
 - 「子どもが本当に信頼できる機関あるいは大人を育成すること」
 - 「行う活動が、子どもの将来にどう影響するかを丁寧に考えたうえで活動すること」

4) 情報入手ツール

- 信頼できる情報入手ツールは何か（回答の多い順）：新聞(67.2%)、ホームページ(61.3%)、テレビ(43.3%)、学校・勤務先(38.7%)、Facebook(36.5%)、家族・友人(36.5%)

あなたが信頼できる情報発信源は何ですか？以下のうち当てはまるものすべてを選択してください。

137件の回答

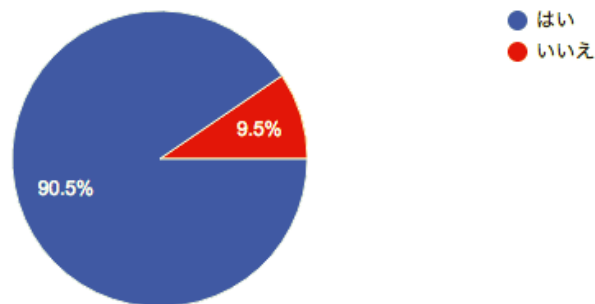


5) 社会貢献活動への関心

- ・ ボランティア活動への参加経験の有無：ある（90.5%）

今までボランティア活動に参加したことがありますか？

137件の回答



- ・ 社会貢献活動に興味を持ったきっかけ（回答の多い順）：先生や家族に影響されて（33.6%）、インターネットの情報（27%）、友人の誘い（16.1%）
- ・ ボランティア活動に機会があれば参加してみたいですか：「はい」（86.9%）